

佐久をもっと好きになる

# 久 佐 報 広

議員報酬と定数の改定  
に関する市民説明会



説明資料・質疑応答

佐久市と佐久市議会から  
市民の皆様へ大切なお知らせです



佐久市 ・ 佐久市議会

# 目 次

- 1 市民説明会実施概要 … 1
- 2 市民説明会までの経緯 … 2
- 3 市議会議員の報酬について(説明資料)… 3
- 4 市議会議員の定数について(説明資料)… 7
- 5 議員報酬に関するご意見・ご質問等 …14
- 6 議員定数に関するご意見・ご質問等 …16
- 7 その他に関するご意見・ご質問等 …21

# 1 市民説明会実施概要

## 佐久市議会議員の報酬と定数の改定 に関する市民説明会を開催しました

### 【開催趣旨】

令和2年12月4日に佐久市特別職報酬等審議会から、議員報酬の額について市長へ答申があり、その際「報酬の増額にあたっては、議会において議員定数の削減を検討されたい」と附帯意見がありました。

議員定数の削減にあたっては、市民の皆様の権利が縮小すること(市民の皆様の声が行政に届きにくくなる・行政へのチェック機能の低下など)が考えられます。

このことから、市民の皆様に議員報酬の増額と定数の削減についてお知らせをするべく、佐久市と佐久市議会が一緒に市民説明会を開催しました。

市民説明会において頂戴しましたご意見・ご質問につきましては、「佐久市型論点整理手法」により取りまとめを行い、市ホームページにおいて公表しています。

### 【今後の予定】

佐久市と佐久市議会は、佐久市議会議員報酬改定条例(案)と佐久市議会議員定数改定条例(案)を、9月の佐久市議会定例会に提出します。

### 【市民説明会開催状況】

- ・開催期間と回数:7月5日～8月10日 11回開催
- ・参加者数:延べ298人

※より多くの市民の皆様に市民説明会の内容をご理解いただくため、本紙を配布します。

また、市ホームページでは、8月10日の市民説明会の動画を掲載していますので、ご覧ください。



市ホームページ

「佐久市議会議員の報酬と定数の改定に関する市民説明会」

## 2 市民説明会までの経緯

- ・佐久市議会は、平成17年の合併以来、報酬の改定が無かったことに加え、報酬の低さが議員の「なり手不足の一因」となっているとして、平成30年から自ら検討を行い、令和元年5月、議会から市長に「特別職報酬等審議会の開催」及び「議員報酬の額を改定することについて諮問（意見を求める）」の要請がありました。  
(3ページ参照)
- ・市長はこの要請を受け、所定の手続きとして令和元年10月、特別職報酬等審議会へ諮問しました。(3ページ参照)
- ・令和2年12月、特別職報酬等審議会は、市長に「議員報酬は諮問のあった金額のとおりとする」、「改定の時期はコロナの状況及び社会情勢を踏まえ、市長が判断する」との答申（当審議会の意見）をし、附帯意見として「報酬増額にあたり議会において定数削減の検討」、「議員活動の見える化の方策を進めること」を付しました。(4ページ参照)
- ・答申を受けた令和2年12月はコロナ禍であり、経済状況も全く見通せない状況であったことから、市長は当答申を受けた際に議員報酬の増額を「無期限凍結」としました。(4ページ参照)
- ・令和4年の12月に国の示す地方財政計画において、税収がアップする予測が立てられたこと、また、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行することが国から示されたことから、市長は、経済状況の活発化や改善がみられると判断し、令和5年2月の定例記者会見において、議員の報酬改定条例(案)の提出を今年の9月議会とすることを発表しました。(5ページ参照)
- ・報酬増額（市が条例案を提出）と定数削減（議会が条例案を提出）はセットで市民の皆様にお知らせする必要があることから、条例案提出までに佐久市と佐久市議会において市民説明会を開催することとしました。

### 【議員報酬改定（案）】

- 議長 月額494,000円（33,000円の増） 年収8,244,860円（550,770円の増）
- 副議長 月額435,000円（52,000円の増） 年収7,260,150円（867,880円の増）
- 議員 月額405,000円（56,000円の増） 年収6,759,450円（934,640円の増）

※令和元年度の支給月数（3.35月）で算出

### 【議員定数改定（案）】

- 24名（2名減）

### 3 市議会議員の報酬について(説明資料)

#### ■ 佐久市議会 議員報酬

議員報酬

##### これまでの経緯

- 令和元年 5月 8日 佐久市議会の市長への申し出
- 令和元年10月 1日 第1回 特別職報酬審議会 (諮問及び資料の収集・確認等)
- 令和元年12月23日 第2回 特別職報酬審議会 (資料の確認等)
- 令和2年 2月10日 第3回 特別職報酬審議会 (方向性及び時期の検討等)
- 令和2年11月17日 第4回 特別職報酬審議会 (方向性及び時期の検討等)

【補足】議員等、特別職の報酬を改定するときは、特別職報酬等審議会の意見を聞くこととなっています。

##### これまでの経緯

議員報酬

#### ●令和元年10月 1日 市長から佐久市特別職報酬審議会へ諮問

佐久市議会の議員の議員報酬の額の改定について (諮問)

このことについて、佐久市特別職報酬等審議会条例第2条の規定により、下記事項について、貴審議会の意見を求めます。

記

1 佐久市議会の議員の議員報酬の額を次のとおり改定することについて

議長報酬	494,000円
副議長報酬	435,000円
議員報酬	405,000円

【補足】審議会等の機関に意見を聞くことを「諮問」といいます。

これまでの経緯

議員報酬

●令和2年12月 4日 佐久市特別職報酬審議会から市長へ答申

1 本文

令和元年10月1日付け元佐総第145号で当審議会に諮問のあった事項については、次のとおりとすることが適当である。

(1) 佐久市議会の議員の議員報酬の額

議員報酬の額は、諮問のあった金額のとおりとする

議長	月額	494,000円	(増額33,000円)
副議長	月額	435,000円	(増額52,000円)
議員	月額	405,000円	(増額56,000円)

(2) 改定の実施時期

改定の実施時期は、令和3年4月の市議会議員の改選以降、新型コロナウイルス感染症の状況及び社会経済情勢を踏まえ、市長が判断すること



2 附帯意見

報酬の増額にあたっては、議会において議員定数の削減を検討されたい

議員活動が見えないという意見が多く出されたことから、引き続き、議会において議員活動の見える化のための方策を進められたい

【補足】 「諮問」に対して審議会等から意見することを「答申」といいます。

これまでの経緯

議員報酬

●令和2年12月 4日 佐久市長「無期限凍結」

【補足】 コロナ禍で経済情勢が見通せないため、報酬改定の時期を「無期限凍結」としました。

審議会答申 遵守

議員報酬条例提出  
 令和5年9月議会  
 令和6年4月実施

【補足】 地方財政計画や新型コロナウイルス感染症の5類移行等、経済情勢の活発化や改善がみられると判断し、議員報酬条例を令和5年9月議会に提出することとしました。

- 平成29年度の佐久市議会の立候補者を見ても、多くの方が出馬する環境にない。  
 広く人材を求めるために報酬を整える必要がある。
- 同規模自治体と比較して、報酬が低い。

都道府県	市名	議員定数	人口(R4.7月)	報酬月額
大阪府	河内長野市	18人	101,093人	570,000円
鹿児島県	鹿屋市	26人	100,375人	370,000円
<b>長野県</b>	<b>佐久市</b>	<b>26人</b>	<b>98,358人</b>	<b>349,000円</b>
岡山県	津山市	28人	98,127人	465,000円
長崎県	大村市	25人	98,025人	400,000円
山形県	酒田市	25人	97,994人	450,000円
長野県	飯田市	23人	97,750人	407,000円
長野県	安曇野市	22人	96,658人	360,000円

【補足】 平成29年度の市議会議員選挙は、終盤まで立候補者が出そろわない状況でした。令和3年度の市議会議員選挙は、無投票となりました。

**論 点**

**議員報酬**

**金 額**      **349,000円 → 405,000円**

**議 席**            **26人 → ?人**

**時 期**      **令和 6 年 4 月 1 日**

【補足】特別職報酬等審議会からの附帯意見として「報酬の増額にあたっては、議会において議員定数の削減を検討されたい」とありました。

**参 考**

**議員報酬**

市議会議員の年収

(単位：円)

	議長			副議長			議員		
	改定前	改定後	差額	改定前	改定後	差額	改定前	改定後	差額
報酬（月額）	461,000	494,000	33,000	383,000	435,000	52,000	349,000	405,000	56,000
期末手当	2,162,090	2,316,860	154,770	1,796,270	2,040,150	243,880	1,636,810	1,899,450	262,640
年収	7,694,090	8,244,860	550,770	6,392,270	7,260,150	867,880	5,824,810	6,759,450	934,640

- ・年収は額面金額であり、実際はここから税金などが控除されて支給されます。
  - ・期末手当（年額）＝報酬月額×加算割合（1.4）×支給月数（3.35月）
- (佐久市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例第4条)

【補足】報酬改定前後の市議会議員の年収を比較した参考資料です。



## 4 市議会議員の定数について(説明資料)

### ■ 佐久市議会 議員定数について

議員定数

#### これまでの経緯

- ◆令和2年12月 4日 「佐久市議会の議員の議員報酬の額の改定について(答申)」

#### 【 附帯意見 】

「報酬の増額にあたっては、議会において  
議員定数の削減を検討されたい」



「議会活性化特別委員会(議員8名)」において、協議、検討  
(※R3.5.19設置)

#### これまでの経緯

議員定数

- ◆令和3年10月19日 議会全員協議会 議員研修会  
「議員定数の考え方と議論する仕組み作りと議会の課題」  
講師：大正大学 江藤教授
- ◆令和3年11月 8日 議会活性化特別委員会 行政視察



秩父市議会へ

「議員定数  
削減について」

## これまでの経緯

## 議員定数

### ◆令和3年11月～12月 議員アンケート

全議員(26名)に議員定数についてのアンケート調査を実施

#### ○現在の議員定数26人について

- 12名の議員が、「多い」
- 14名の議員が、「適数」と回答

### ◆令和4年 1月～2月 議員定数に係る市民アンケート

#### ○市民1,000人を対象(無作為抽出)

議員定数に係る市民アンケート実施

(回答者441人、回答率44.1%)

## これまでの経緯

## 議員定数

### 佐久市議会 議員定数に関する市民アンケート結果

対象者数	回答者数	回答率
1000人	441人	44.1%

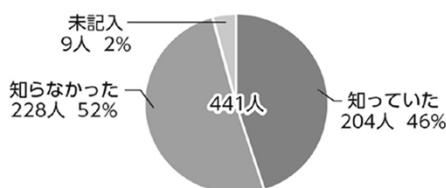


(単位:人)

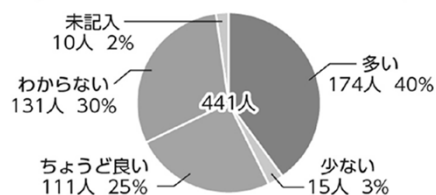
#### 回答者の年代別内訳

18～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	計
23	43	56	65	94	86	74	441
5.2%	9.8%	12.7%	14.7%	21.3%	19.5%	16.8%	100%

#### 議員定数26人知っていたか



#### 議員定数26人多い・少ない?

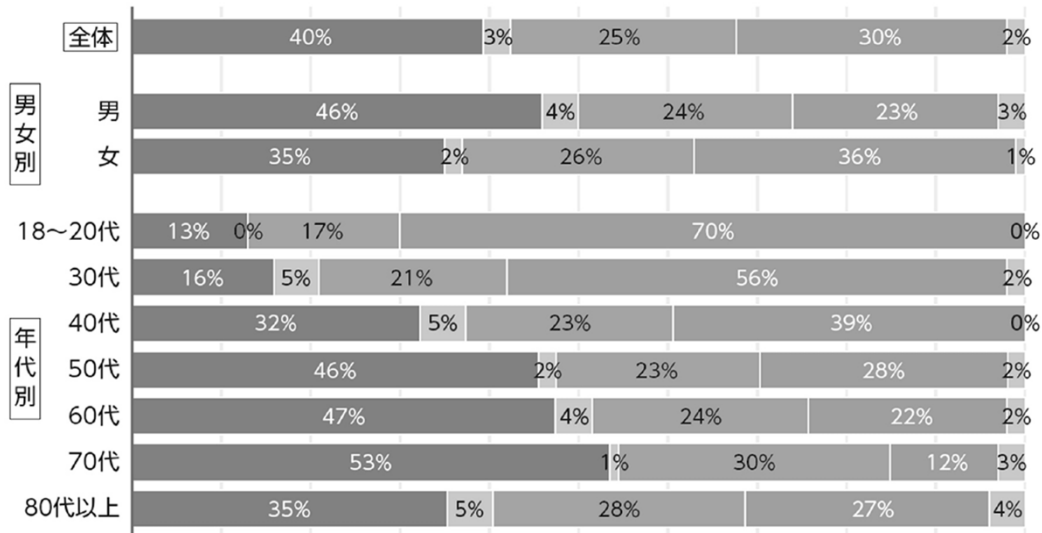


これまでの経緯

議員定数

議員定数26人について

■多い ■少ない ■ちょうど良い ■わからない ■未記入



これまでの経緯

議員定数

◆令和4年4月12日 議会全員協議会(議員間討議)  
市民アンケート及び、議員アンケートの  
集計結果を受けて、 議員間討議

◆令和4年5月31日 佐久市男女共生ネットワークとの意見交換会



男女共生ネットワーク15名

議会活性化特別委員会議員8名

## これまでの経緯

## 議員定数

◆令和4年10月 9日、18日 議員定数に係る市民との意見交換会  
(全2回開催)

【 1回目 野沢会館 】 (市民10名参加、議員13名)

【 2回目 市民創錬センター 】(市民30名参加、議員13名)



## これまでの経緯

## 議員定数

### 【 議員定数に係るいただいた主なご意見 】

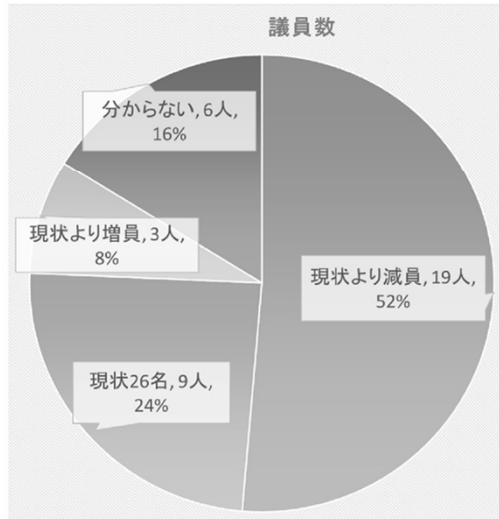
- ・仕事量と議員数とのバランスが必要で1人増の27人でも良い。
- ・議員定数が合併前は72人、平成17年は34人、現在は26人である、定数削減により議会機能が損なわれては困る。
- ・2年前の市議会議員選挙が無投票となったため減らした方が良い。
- ・人口比で同規模の安曇野市や飯田市とも比較しながら、人口比で定数を決めれば良い。
- ・選挙前の議会では、途中で議員が2人辞めて、24人で議会運営ができたのだから2人減で良い。
- ・最終的には、議員間でしっかり議論して決めてほしい。

これまでの経緯

議員定数

【 アンケート集計結果 : 参加者の37名からの回答 】

Q: 議員定数26人の増員、減員、現状維持へのお考えについて。



●現状より減員	19人	52%
●現状26人	9人	24%
●現状より増員	3人	8%
●分からない	6人	16%
計	37人	100%

これまでの経緯

議員定数

◆令和4年11月 9日 議会全員協議会(議員間討議)

市民アンケート、市民との意見交換会及び、議員アンケートの集計結果を受けて、全議員による議員間討議

◆令和4年11月10日 議会活性化特別委員会(採決)

- 議員定数 24人 → 2名
- 議員定数 25人 → 6名

採決により、定数を1人減の25人とすることに決定

これまでの経緯

議員定数

◆令和4年11月17日 議会運営委員会へ報告

議会活性化特別委員会委員長から、議員定数の協議結果について、議会運営委員会へ報告



「議会運営委員会」で、「議会活性化特別委員会の結論」が全会一致でなかったことから 協議継続 を決定

◆令和5年 2月 8日 議会全員協議会(議員間討議)

「議会全員協議会」(全議員26名)での議員間討議(採決)

- 議員定数 24人 → 14名
- 議員定数 25人 → 7名
- 態度保留 → 5名

これまでの経緯

議員定数

◆令和5年 3月 8日 議会運営委員会

「議会運営委員会」(議員10名)で協議

委員長を除く、9名の議員で採決

- 議員定数 24人 → 7名
- 議員定数 25人 → 2名

「議員定数を2人減の24人とする」  
議会運営委員会の方針を次期委員会へ申し送り決定

■「今後の予定」

- ★ 議会運営委員会では、前期委員会からの方針  
「議員定数24人」を受け、

議員定数条例改正(案)を  
令和5年9月定例会に提出予定

## 5 議員報酬に関するご意見・ご質問等

No.	ご意見・ご質問	市・議会の考え方	回答者
1	なぜ議員報酬を上げる（上げたい）のか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年の合併以来、18年間報酬が据え置かれており、報酬の低さが議員の「なり手不足の一因」となっているとして、令和元年5月、議会から市に「特別職報酬等審議会の開催」及び「議員報酬の額を改定することについて諮問（意見を求める）」の要請があった。</li> <li>市は所定の手続きとして令和元年10月、当審議会へ諮問を行い、令和2年12月に当審議会から報酬を増額することが適当であるとの答申（当審議会の意見）を受けた。</li> <li>国の示す地方財政計画でも税収がアップする予測を立て、本年5月には新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行し、経済活動が活発化したこの時期を適切な時期と判断した。</li> <li>議会議員は、自衛官や警察官、裁判官などの公務員と同じく、主権者である国民の皆さんから、公平で公正な判断を求められており、経済的な安定を整えておくことが重要であると考えます。</li> </ul>	佐久市
2	議員報酬は市民と比べたら多いと思うが、他の自治体に比べて低いという理由で金額を上げるのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>権力、権限（市民生活への影響力）を持つ議会議員や市長は一定の経済的基盤が必要と考える。</li> <li>報酬金額については、特別職報酬等審議会で令和元年5月に議会が当審議会への諮問を求めた金額が適当であると令和2年12月に答申を受けている。</li> </ul>	佐久市
3	報酬の計算方法などの根拠を示したうえで決定した方が適正性があると思う。市の考え方を問う。	<p>議員報酬金額は議会から市に増額の要請（金額を提示）があり、特別職報酬等審議会に諮問し、答申を受けた金額である。また、市では議会側からの要請で特別職報酬等審議会を開催しており、報酬を算定することはしない。 （市に示された金額：議会において全国・県内の同規模自治体議会の報酬等を参考として金額を提示した）</p>	佐久市
4	現行の報酬を年額とした場合はいくらか。	令和2年11月の特別職報酬等審議会において、約5,825,000円と説明している。	佐久市
5	報酬を増額した場合、年額はいくらか。また、月額何か月分となるのか。	令和2年11月の特別職報酬等審議会において、報酬を増額した場合の年収は、約6,759,000円になると説明している。 また、単純に月額で割り返すと約16.7ヶ月分となる。	佐久市
6	報酬と定数の改定に係る市民説明会の開催、手続きを踏むとした理由の一つに、地方財政計画において令和5年度は税収が上がるとのことだが、どのくらい税収が上がるのか。	令和4年12月に国が示した地方財政計画では、令和5年度の税収は上がると予測しており、地方財政計画からすると佐久市の市税では約2億円のアップとなる見込み。 今年度の第1四半期（4～6月）は、前年同期に比べて税収が上がっていることが確認できている。	佐久市
7	特別職報酬等審議会は平成29年に開催され、その後令和元年に開催されているが、その間の期間が短いのは、何か特別な理由があったのか。	議員報酬を上げるときには、特別職報酬等審議会の意見を聴くこととなっていることから、議会からの求めに応じ、開催した。 前回の平成29年の開催から、次の特別職報酬等審議会の開催(令和元年)を求められた期間が短かったため、短期間で諮問となった。	佐久市
8	平成29年の特別職報酬等審議会では、各種団体推薦の委員が6名、公募委員が4名であったが、令和元年では、各種団体推薦の委員が8名、公募委員が2名（2名減）となっている。審議会の公募委員は、市長の考えで少なくしたのか。公募委員が減員となる案を市長が決裁したということは、市民の声を聞かないという意味ではないか。	<p>特別職報酬等審議会の委員構成に、市長の恣意的なものは入っていない。 （公募委員が4名から2名になった理由：当日未回答）</p> <p>特別職報酬等審議会は、条例に基づき、委員10名をもって組織するとしており、諮問の都度、委員を任命している。令和元年の特別職報酬等審議会では、議会から示された議員報酬の妥当性について、専門的な視点から議論ができる委員構成とする必要があるため、佐久市審議会等の委員の公募に関する指針に基づき、公募委員は全体の2割を確保しつつ、新たに社会保険や税といった視点等について社会保険労務士団体及び税理士団体等から専門知識を持つ委員を加えた。</p> <p>参考：委員構成は、1 識見者（元公平委員）、2 市民代表（区長会推薦）、3 女性代表（女性団体推薦）、4 生活費（社会保険）の知識（社会保険労務士団体推薦）、5 生活費（税）の知識（税理士団体推薦）、6 経済状況（商工業）の知識（商工会議所推薦）、7 経済状況（農業）の知識（農協推薦）、8 労働と賃金の知識（連合長野推薦）、9 公募委員（2人）の10人。</p>	佐久市
9	報酬の算出にあたり、県下19市の議員一人当たりの人口比を比較したのか。報酬の算出根拠を教えてください。	<p>県下19市の議員一人当たりの人口比は算出していないが、令和元年10月の特別職報酬等審議会提出資料において、全国の人口規模類似団体の比較をしており、県内では、飯田市4,462人、安曇野市4,457人、佐久市3,821人となっている。例えば、当市議会の議員定数を24人とした場合、議員一人当たりの人口比は318人増加し、4,139人となる。</p> <p>次に、報酬の算出については、市議会において議員の活動量を市長と比較して報酬を試算することや、全国の人口規模類似団体との報酬比較等を行い、算出根拠としている。</p>	市議会



No.	ご意見・ご質問	市・議会の考え方	回答者
10	月額報酬のほかに、色々なものが加わって年額となる。こうした内容も明らかにしてもらいたい。	・No.5と同じ ・年収は額面金額であり実際はここから税金などが控除されて支給される。 ・期末手当（年額）＝報酬月額×加算割合（1.4）×支給月数（3.35月） （佐久市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例第4条）	佐久市
11	特別職報酬等審議会の答申のとおり、議員報酬を上げた場合、1,000万円程（報酬を上げ、定員を2名減とした場合の金額）増えると思うが、その予算はどう考えているのか。	一般財源からの支出となる。 一般財源は国からの地方交付税交付金や市民の皆様からいただく税等で構成されている。	佐久市
12	増額後の報酬額は妥当であるし、もっと上げてもいいとも思うが、議員の活動の内容がよくわからず不透明であるため、報酬を上げる条件として、議会の見える化にもっと力を入れてやってもらいたい。	議会活動の見える化については、まずは議員個人の活動を活発化させていくことが一番だと考えている。 また、市議会の総体としては、出前議会報告・意見交換会を通して住民との対話を進めていくことや、現行の広報モニター制度を議会モニター制度として拡充することで、本会議や委員会の傍聴を通して評価していただき、モニターの皆様と議員とで討議しながら議会への住民参加を促すことを検討している。 こういったことから、見える化を進めていきたいと考えている。	市議会
13	長野市、松本市、上田市等を参考に、議員報酬は市長報酬の45%前後にすることが良いのではないか。	今回は、議会から市に増額の要請（金額を提示）があり、手続きを進めてきている。貴重なご意見として伺う。	佐久市
14	会計年度任用職員の給与の改定や給食費無償化等の取組むべき課題がある中、議員報酬を先に上げようとするのは問題ではないか。	会計年度任用職員は、最低賃金の改定や人事院勧告に合わせて見直しを行っているが、議員報酬については、合併後、一回も改定していない。 給食費無償化等の課題については、別の場面で議論を深めた方が良い。	佐久市
15	報酬の改定時期は、来年4月ではなく選挙後の令和7年でも良いのではないか。	議席のことだけを考えると、ご質問のとおりである。しかし権力・権限を持つ議会議員や市長は一定の経済的基盤が必要と考える。また、特別職報酬等審議会からの答申をできるだけ早い段階で遵守することにおいて、国の示す地方財政計画でも税収がアップする予測を立て、本年5月には新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行し、経済活動が活発化したこの時期を適切な時期と判断した。	佐久市
		報酬については全国の人口9万人台の都市が27市あり、その中で人口は佐久市が第1位だが報酬は26位で下から2番目という事実があるため、報酬改定の条件が整ったところでの速やかな改定をと考えている。	市議会
16	報酬アップの条例の提出者は市長なのに、なぜ提案は議会なのか。また、なぜ無期限凍結を解除したのか。	議会が何もアクションをしていないのに、市長が報酬を上げることは控えるべきであり、議会が発議して、特別職報酬等審議会の意見を聞いて、それに従うというのがあるべき姿であると考えている。 特別職報酬等審議会から報酬を増額する答申が示され、本来は遅滞なく行うべきだが、当時はコロナ禍であり、議員報酬アップは理解が得られないと判断し、無期限凍結とした。国の示す地方財政計画でも税収がアップする予測を立て、本年5月には新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行し、経済活動が活発化したこの時期を適切な時期と判断した。	佐久市
17	前々回の特別職報酬等審議会の答申から2年ほどで次の審議会の開催を要請したが、失礼だとは思わないか。	前々回の特別職報酬等審議会の中で報酬についてはきちんと論議していただいたので、その結論は尊重したいと思っているが、報酬の増額は、現在の議員のためだけではなく、多くの市民が将来議員に立候補できる環境を整えることも私たち議員の使命だと考えている。このことから、今回の特別職報酬等審議会では、具体的な報酬額をお示しして、再度諮問をお願いした。	市議会
18	報酬が増額されることについて、議員としてどのように考えるか。増額する報酬の総額と、定数が2名減となる分の報酬総額を比較すると、市の財政負担は増すが、そのことについてはどう考えるか。議員の皆さんは市の財政負担が増えないようにとは考えないのか。	報酬は多くの市民の方が議員になりたいと思うための一つの重要な要因であると考えている。議会費の総額は多いわけではない。報酬に見合った働きに努めていく。	市議会

## 6 議員定数に関するご意見・ご質問等

No.	ご意見・ご質問	市・議会の考え方	回答者
1	議員定数の方針を決めた説明の中にアンケートの数が多かったとあったが、それを参考に決定することは適正か。議員定数の考え方とは。	議員定数は明確な基準が無い。人口、面積、財政規模などを考慮し、市民の皆様との意見交換も行ってきた。アンケートはあくまでも参考の1つであり、方針決定は適正と考える。	市議会
2	今回改定する議員定数を妥当なものとする理由は何か。もっと減らして20名ぐらいいでも議会活動ができるのではないか。その辺を議論いただきたい。	議員の定数減は議員の権利が減少すると思われるかもしれないが、むしろ市民の権利が縮小するものとする。 (議員が減ることは、市民の声が行政に届きにくくなる・チェック能力の減少の可能性もある) 市民の権利に関わることから、市民の皆さんが正確に知る必要があり、知らないことのないよう、説明会を開催している。	佐久市
		過去には34人だった議員を2回減じてきている経過がある。同じ10万人の人口規模でも面積が小さい自治体もある。佐久市は面積が約420km <sup>2</sup> と広く、市周辺部の市民意見の反映なども考慮した上で、議員定数24人という方針としている。	市議会
3	定数が2名減となることは、議論されたのか。また、議会活動に支障はないのか。	定数を2名減とする議論は、説明会資料のとおり行ってきた。議会活動は支障なく行えると考えている。	市議会
		定数が2名減となった場合の影響は、定量的に説明することは困難。しかしながら、例示をすれば、前任中に県議会議員に立候補するため、2名の議員辞職があったが、この2名は年4回の定例会で毎回質問しており、そのことから、行政へのチェック機能はパワーダウンしたと言えるかもしれない。	佐久市
4	市議会の人数が多いのか、少ないのか良く分からない。県外から人が流入しており、こうした活動をしてもらうのなら、議員は何人いても良い。	どこを参考に議員定数を決めるのかというと、同規模の市を参考にせざるを得ない。人口増や経済が活発になった際には定数を増やすという議論もある。ご意見は大切に、しっかり受け止めさせていただきたい。	市議会
5	令和2年から令和5年にかけてはコロナ禍であり、平時というより有事であった。このときに定数の議論がされていたようだが、コロナ禍の不安定な時期に定数の議論をしたことに対して、どのように考えているか。	令和2年より前から市民の皆様との意見交換を行うなど議論を重ねてきた(※)。特別職報酬等審議会の答申のタイミングがコロナ禍となってしまったが、慎重な議論を尽くしてきた。 ※…資料：佐久市ホームページ→市政情報→情報公開→令和元年度審議会等の会議結果一覧→佐久市特別職報酬等審議会10月1日会議資料をご覧ください	市議会
6	近年、特に町や村などの地方議会議員の立候補者が定数に満たず、無投票となっている例がある。佐久市においては、今後どのようになっていく認識でいるのか。	令和3年の市議会議員選挙は立候補者数が定数を超えなかったため、無投票となった。今後の予測は難しいが、多くの人に出馬してもらうことにより、活発な議会となり市のチェック機能も果たされるので、議会に関心を持ってもらえるように、引き続き議会の見える化に努めていく。	市議会
		急激に立候補者が定数を大きく上回ることは、一般的に考え難い。平成9年の佐久市議会議員選挙投票率は82%であったが、本年4月の県議会議員選挙で佐久市の投票率は47%であり、政治への無関心が急激に進んでいる。昭和36年以降、令和3年の市議会議員選挙で初めて無投票となった。今後定数を割るような可能性も否定できない。	佐久市
7	定数を考えて、その部分の報酬を上げるというならば賛成するが、定数がないというのであれば、定数を作っていたらいいと思う。飯田市との面積から比べれば、議員数はもっと減らしてもいいと思う。	議員定数は明確な基準が無いが、人口、面積、財政規模などを考慮し、市民の皆様との意見交換も行ってきた。また、同規模の市の議員定数も参考にしている。これらのことを考慮した上で、議員定数24人という方針としている。	市議会



No.	ご意見・ご質問	市・議会の考え方	回答者
11	特別職報酬等審議会の際にある議員から報酬増額の理由の一つに「選挙費用の積立て」が挙げられた。あってはならない発言だと思うが、いかがか。	どういった経緯での発言かを確認の上、お答えする。 (確認後) 令和元年10月1日の第1回特別職報酬等審議会の際に、審議会委員の「議員報酬が多いか、少ないか」の質問に市議会議員が答えたもので、議員は報酬のうちから他自治体との交流会費や研修費、書籍の購入費、地域行事の参加費、慶弔費、市民相談の際のガソリン代、次の選挙費用の積立て、住宅ローン、子どもの教育費などを支出しなければならないことから、生活していくには厳しい状況にあることを訴えたいがための発言であったものと思われる。	市議会
12	議員の報酬と定数の削減を、そもそも一緒に考えるというのは問題だと思っている。議員定数を減らすというのは民主主義の危機であり、安易に定数を減らすということに流れないでほしい。	ご意見と同様に、議員報酬の増減と議員定数との絶対的な関係性は無いと考えている。ただし、諮問に対する答申に「報酬の増額にあたっては、議会において議員定数の削減を検討されたい」との附帯意見があるため、今回に限っては不可分だと思っている。答申を尊重し、議会における議論の結果、定数2減としたことは冷静な判断だと考える。	佐久市
13	議員は、市民の声をどれだけ聞いているのか。	市民の皆様との意見交換の場としては、個人又は会派で各地に出向き意見交換をしている。議会全体としても年1回は必ず、議会報告・意見交換会（議会と語ろう会）を開催している。また、希望があれば、議員が出向いていく、出前議会報告・意見交換会も行っている。	市議会
		議員活動で、市が大きな影響を受けた例として、手話言語条例の制定がある。議員が勉強会を重ね、議員発議により県内では初となる条例を作成し、制定したと認識している。	佐久市
14	定数に関しては現状のままとし、少なくするという状況ではない。パブリックコメントの意見募集期間はガイドラインでは1カ月程度の期間としており、最低でも2週間確保するとしているが、この扱いが雑になっている。意見提出数が少なかったり、各種アンケートの回収率が低い状況のなかで、まずは市民からの意見をより多く聞く対策を講じる必要がある。その上で定数については、市民意見を聴取し、改めて協議、検討していただきたい。	議員定数については、意見交換をしてきた中で、定数を減らさなくてもよいという意見もあったが、削減したほうがよいという意見が多かった。そのような中で議員間で協議し削減することとした。 市民からの意見については、きちんと聞いて反映できるよう努めていきたい。	市議会
		パブリックコメントの意見募集期間は「佐久市市民意見公募手続ガイドライン」において決まっているので、その運用について、改めて職員に指示する。また、市民の皆様の見解等をお聞きするための新たな手法として、具体的なまちづくりを進めるうえで市民が定期的に集まって議論を深めていくワークショップという手法にも取り組んでいるところである。	佐久市
15	議会の3常任委員会を最低必要限度機能させるには、定数を減らしすぎてしまうと、深い議論ができなくなる懸念がある。1回やってみて、うまくいかなかったら定数をまた増やせば良いのではないかとと思う。	市議会の審議は、常任委員会で深い議論をし、その結果を本会議に報告していることから、定数を減らしすぎてしまうと深い議論ができなくなる恐れがあることは認識している。他町議会でも、一度減らした議員定数をまた増やしたという例があるので、ご意見として伺う。	市議会
16	報酬増額と定数削減の改定がなぜ同じ時期なのか。また、前任期中に県議会議員に立候補するため、2人の議員辞職があり、24人でも運営できたとの話があったが、運営できたからといって民意が反映できたとは言えないのではないか。まず報酬を増額して、その結果を見てから定数を改めて議論するのが良いのではないかと。	No.12と同じ	佐久市
		特別職報酬等審議会答申の附帯意見を議会としても尊重し、議員定数の削減について検討をしてきた。民意を反映するためには、ある程度の人数は必要だという点についても議論を重ねてきた。明確な定数の基準がない中、様々な観点から検討を重ねてきた。	市議会

No.	ご意見・ご質問	市・議会の考え方	回答者
17	無投票となった前回の選挙について、新型コロナの影響で立候補を見送った人もいるのではないかと。この点についてどう考えるか。	前回の選挙が無投票となった原因には、新型コロナウイルスの感染状況も影響はあったものと考えられる。一方で、これまでの過去20年間の選挙立候補の推移をみると、コロナの影響だけでなく、不活発になってきている傾向はある。	佐久市
18	現在、報酬月額約35万円で定数は26人。増額後は約40万円となり、定数を23人で考えるとトータル経費は同じくらいになるが、定数を23人とする議論はされてきたのか。しっかりと説明するべきだ。	人件費総額や定数23人も含めて様々な観点から議論を重ねて検討してきた。財政負担が増えないように定数を考えるというのも一つの考え方だが、定数を減らすことは市民益にも影響を及ぼすことから、総合的に勘案して検討を行った。貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。	市議会
19	定数は明確な根拠がないと言っているが、佐久市は面積が飯田市よりも狭く安曇野市よりも若干広い程度、飯田市が定数23人、安曇野市が22人ということを考えれば、佐久市は定数を24人ではなく23人でも22人でも、先日(7/24野沢会館で)言ったが定数20人でもいけるのではないかとこの考えがあるが、いかがか。	面積だけの比較ではなく、地域性や成り立ちなど、総合的に勘案し、全国の同規模自治体の報酬との比較や、議会の委員会構成として1委員会7～8名が適しているとの考え方もある。また、市民アンケートや、市民の皆さんとの意見交換会などを通して、議論し検討した結果、佐久市は24人という数字が導き出されたと考えている。	市議会
20	定数は明確な基準がないと過去の回答にも書いてある。なぜ基準を作らないのか。作ろうと思わないのか。	全国的にもそういった基準がない中で、早急に基準を作り上げるということは難しい面があると考えている。	市議会
	(市長の「権限がある者の一定の経済的基盤を安定させるという意味が報酬アップであると判断した」との発言を受け) 議員にそんなに権限を与えたら独裁政治になる。主権は市民にあるということを入れてもらって、検討してもらいたいと思うが、いかがか。	議員の権限という話について、議会というのは議決権があり、いわゆるチェック機能がある。もう一つは政策提言。この2つが2大機能と言われているが、特に議員数が減ってしまうと地域の声が反映されなくなることがデメリットと言われているので、議員の資質向上、議会改革を進めながら努力していきたいと考えている。 議会の定数は、かつて法定定数という基準があり(平成11年の地方自治法改正まで)、人口によって決められていた。しかし、消滅可能性都市(若年層の流出やそれによる人口の減少・少子化により、最終的には消滅してしまう可能性がある市区町村)において、仮に人口が半分になったら議員の数も半分でもいいかとなると、人口だけでは決められないという話になり、それぞれの地域の事情を勘案して定数は決めていこうということになった。なお、現状において議員定数は条例で定めているが、基準は無い。	佐久市
21	今日の説明は、定数を24人に削減するということと理解したが、もともと定数を考えてくださいというのは、報酬を上げると予算が増えるということになり、その中で本当に今の26人という数が必要なのかどうか一考してください、ということの提言と考えている。減らすことについて議論するということではなく、本当に今の26人が必要なのか、その根拠がやはりまだ伝わってきていない。なぜ24人にしたのか、26人が必要ならこういう理由で26人が必要、それをお示しいただければよかったと思う。それが24人でなぜ間に合うのか、なぜこの人数ならやっつけられるのか、この人数ではまずいのかなど、その辺の根拠を示していただいて、市民が納得するものをお示しいただけるとありがたい。  活動が見えないということ、26人がそれなりの仕事をしてくださっているのだろうか、その問いの中から議論してほしい、考えてみてほしい、ということが本質だと思っている。	ご指摘の通り、明確な基準が見えないというところはあるが、ひとつの一般論として多くの議会が採用しているように、10万都市くらいだと1常任委員会当たり7～8名の議員が必要と考えた。委員長は審議を進めるため発言ができないという状況であり、6～7名で審議しなければならない。また、各議員の経験値も勘案すると、最低7名は必要である。たくさん議員を減らすと大変厳しい状態になると思う。一般論だけではなく、市民アンケートや、市民の皆さんとの意見交換会などから導き出してきており、明確な基準がない中で我々が考えた結論が24人である。  見える化については個人の活動を情報発信するなど努力していく、議員の資質を上げていく、議会改革を進める、こういったことでしっかり市民の皆さんの声に応えられるようにと考えている。	市議会

No.	ご意見・ご質問	市・議会の考え方	回答者
22	以前、定数の改定については出来レースなのかと議会事務局に聞いたら、まだ決まっていなかったと言われた。議員定数24人ということを検討することはないのか。	本日は、議会において議員定数をなぜ24人にしたかということの検討の経緯を説明させてもらった。定数条例の改正は9月定例会に議会運営委員会として議案を提出して、議決を持って決める予定であり、議案として提出していくのが26名から2名減の24名としていくということ。現状においては決定しておらず、9月議会の本会議において決定することになる。議員定数が24人に決定したということでの説明会を行っているのではない。	市議会
23	市民アンケート1,000人の中に私は入っていない。1,000人の中で44%の回答しかないというのはおかしい。やるなら全市民、18歳以上の有権者から回答をもらうべきと思うがいかがか。	アンケートにかかる経費を勘案したり、集計作業もあるので、市民意見の一つのサンプルとしてアンケートを行った。アンケートだけで全て決定しようとしたのではなく、アンケートも参考にし、市民の皆さんとの意見交換会も行い、皆さんの意見をお聞きする中で、定数何人が良いのか協議してきた。分からないという市民の方からは、議員さんが協議して決定してよいのではという意見もあった。アンケートについては無作為に抽出して行ったものであり、市民意見聴取の一つの方法ということでご理解いただきたい。	市議会
24	アンケートを無作為にとはどのような方法で行ったのか。	住民基本台帳の18歳以上の方の中から、コンピュータを使い人口比（性別、年齢別、地区別）で無作為に対象者を抽出し、紙でのアンケートを郵送する方法により行った。	市議会
25	一番はバランスの問題とと思っている。偏るところはいろんな方がいろんな方法で市民の声を伝えていただいて決めることが一番重要。組織票のある方だけが集まるということも危惧するし、そのためにこういう人数が必要なんですよということをお示しいただければ、市民は納得すると思っているので、議会の中でその辺を踏まえて議論してもらえればと思う。	貴重なご意見として、今後の参考にさせていただきます。	市議会
26	報酬と定数は別問題。なぜ、飯田市議会、安曇野市議会の22人、23人と比較にならないのか。議員が少なくても議会としての役割を果たしている。定数が多くなっても少なくなっても市民のための議会となってほしい。	No.25と同様 「定数が多くなっても少なくなっても市民のための議会となってほしい。」 につきましては、貴重なご意見として承ります。	市議会
27	大正大学の江藤俊昭教授を講師として議員定数に関する研修を行ったようだが、なぜ定数の基準が作れないのか。	江藤教授自身も定数については答えのないテーマとおっしゃったことから、基準は作れないと判断した。基準のない中であらゆる視点から協議・検討を行ってきた。次世代に渡していくためにも、立候補しやすい状況を作っていく必要があると思っている。	市議会
28	女性議員を増やすため、女性の定数割合が一定程度確保されるクォーター制を条例で定めてはどうか。	女性の意見を聞いていくことは必要である。しかしクォーター制について条例で定めることは市民の皆様の自由な選択を阻むことになり得るため、難しいと考える。	佐久市

## 7 その他に関するご意見・ご質問等

No.	ご意見・ご質問	市・議会の考え方	回答者
1	説明会は、今後も区長会の市政懇談会前に実施するだけなのか？	<p>7地区の市政懇談会の前に行う説明会と、説明会のみ休日・夜間に実施する説明会がある。</p> <p>○各地区市政懇談会前の説明会            7/ 5 (水) 15:30～浅間会館            7/14 (金) // ~東会館            7/18 (火) // ~中込会館            7/21 (金) // ~浅科会館            7/24 (月) // ~野沢会館            7/25 (火) // ~駒の里ふれあいセンター            7/31 (月) // ~コスモホール</p> <p>○説明会のみ開催            7/29 (土) 10:00～駒の里ふれあいセンター            // 14:00～浅間会館            8/ 8 (火) 19:00～野沢会館            8/10 (木) 19:00～創練センター</p>	佐久市
2	すでに9月議会への議案提出が決まっているが、変更はあり得るか。	報酬のアップについて現時点で説明をする中で、矛盾がない限りは、手続き上の問題もないことから、このまま提出する。	佐久市
3	説明会のライブ配信について市長が音声でTwitter配信しているように、市においては、ライブ映像の配信ができないか。また、その映像を繰り返し見ることができるようにはどうか。	説明会最終日、8月10日開催会場（市民創練センター）の説明映像を市ホームページにおいてご覧頂けるよう対応する。 また、市内7地区の市政懇談会にあわせて開催した市民説明会は、佐久ケーブルテレビにおいてその映像が放送（8/13～9/15）される予定。	佐久市
4	説明会の時間配分について説明会の時間が質疑を含めて1時間となっているが、時間内に多くの質疑ができるように、市と議会の説明は各5～10分にして、質問時間を確保してはどうか。あわせて、質問希望者を確認し、一人あたりの質問時間を配分したらどうか。	説明時間については、パワーポイントを使いながら極力時間短縮を図っており、説明内容も各会場の平等性が担保できるように努めている。 ご参加される皆様のご予定等もあることから、あらかじめ質疑の時間をお伝えし、できる限り多くの方にご発言頂くよう進行している。 また、前回までのご質問・ご意見をQ&A形式の一覧表にして配布し、議論の後戻りを防ぐとともに、時間内に質問ができなかった方には、事前に配布した質問用紙にて質疑を記載していただき、後日回答するとともに、ホームページにも公表している。	佐久市
5	手話・要約筆記について説明会中に、手話条例の説明があったが、説明会では手話等の対応をしていない。耳や目が不自由な方に対して、配慮すべきではないか。	講演会や大会等において手話等が必要と想定される、また参加者から事前に要望を頂いた場合に対応している。 今回の説明会においても手話等を望まれる方から事前にご連絡を頂いた際には、可能な限り対応させていただく。	佐久市
6	令和3年度の市長選挙、市議会選挙は無投票であったため、選挙公報の配布がなかった。公約が見れないので市民としてチェックができない。このことについてどのように考えるか。	公約は選挙公報に載ったものだけが公約ではない。演説で話した内容、ツイッターで発信した内容なども公約と考える。市ホームページの令和3年度佐久市議会第2回（5月）臨時会招集あいさつや、後援会ホームページに公約を掲載しており、選挙公報の代わりになると考えられることから、皆さんの税金を使って改めて広報の配布をする必要はないと考える。	佐久市
7	なぜ今回10時からの説明会があるのか。また、コスモホールでの説明会は市政懇談会前の開催となるか。	様々な市民の生活スタイルがあることから、午前中の開催を設けるため、10時開催を設定した。 また、コスモホールでは市政懇談会前の開催となる。	佐久市



令和5年9月

【問合せ】議員報酬に関すること 佐久市 総務課 62-3019(直通)  
議員定数に関すること 佐久市議会事務局 62-3495(直通)

発行／佐久市・佐久市議会（〒385-8501 長野県佐久市中込3056）TEL62-2111（代表）  
編集／佐久市総務部総務課・企画部広報広聴課・佐久市議会事務局